

平成22年（2009）年頭所感

規範となる産科クリニックを目指します。

規範とは、広辞苑によれば「のっとるべき規則。判断・評価または行為などの拠るべき基準。」とあります。これを産科クリニックにあてはめて考えてみますと、あるべき姿であると評価される内容を持つクリニックということであり、いわば「ほかのクリニックがお手本とするクリニックを目指す」ということであろうかと思えます。具体的には、医療内容の充実と快適なアメニティの提供ということになります。10年以上前までは、快適なアメニティを競う傾向が一部にありましたが、今日ではアメニティの充実は当然のことであり、そのうえで医療内容のさらなる充実が求められているものと考えております。

年頭にあたり、産婦人科クリニックとして規範となるような医療内容とはどのようなものかと、あらためて考えてみました。ポイントは下記の3項目に集約できます。

- 1 一次医療施設として、プライマリーケアの充実に努める。

基本的な診断・治療を良心的にしっかりと実行することがとても大切です。

- 2 高次医療施設との提携、連携、密な交流に努める。

ハイリスクの症状を見極めて適切に高次施設に紹介することはクリニックの実力を示す重要事項のひとつです。

- 3 産科クリニックとして、理想の自然分娩の探究・達成を目指していく。

「安らかな良いお産」の探究・達成のために日々努めていきます。

以上のような、年頭の決意を表明し、地域の皆様のお役にたてるように、努力・精進していく

所存でございます。今年もなにとぞよろしく願い申し上げます。

産科婦人科 茅原クリニック 院長 茅原（拝）

平成22年（2009）元旦：記